

祝！ 世界遺産登録1周年

世界遺産登録から1年が経過し、各学校では記念行事等が開かれました。このうち、駿馬南小学校と駿馬北小学校では、2校が合同で行事を行い、互いの学習成果の交流等を深めました。これからも子どもたちの大牟田市の世界遺産学習の成果を国内、国外へと発信するとともに、その充実を図っていきましょう。



学びの夏！ ESDの充実に向けて、熱い思いで…。

夏季休業中に行われた2つの研修会を紹介します。7月25日、「中学校総合」の教育講座では、市役所世界遺産・文化財室の坂井義哉主査を講師として宮原坑のフィールドワークを実施し、世界遺産を教材化する際の示唆をいただきました。29日には、研究所主催の「ESDの基本的な考え方」の研修会が開かれ、天領小学校の古賀信弘校長先生による講義が行われました。若い先生の出席が多く、熱気あふれる学びの場となりました。8月24日には、ホテルニューガイアオームタガーデンにおいて、ユネスコスクール・ESD研修会が開催されます。「みんなで考えよう！ ESDの推進メソッド」と題して準備が進行しているところです。今後、これらの学びを実践に生かしましょう。



「中学校総合」講座



研究所主催講座

大牟田市立中友小学校の実践

「大牟田よかとこPR！ 子ども世界遺産まんじゅうをつくろう」

中友校区には、大牟田名物のまんじゅうを作られている和菓子屋さんが複数あります。そこで、4年生では地域の文化の良さについて考える「キッズまんじゅう」の学習に取り組んでいます。昨年度は、世界文化遺産登録を祝い、「炭坑専用鉄道まんじゅう」(三池炭坑専用鉄道敷跡)、「ハチドリまんじゅう」

(三池港)、「やぐらまんじゅう」(宮原坑)を考え、十日市で販売するという活動を行いました。

この活動を通して、和菓子屋さんが地域の文化を大切にする思いにふれることができました。今後も地域と共に、「つなぐ」「かかわる」活動に取り組んでいきます。



大牟田市立歴木中学校の実践

地域で活躍する仕事を体験して

本校の2年生は、職場体験を行いました。自分の未来に向かってあるべき姿を具現化していくための取り組みです。希望する職種を考え、仕事をするために必要なことを考え、準備を行います。人とのつながりや関わりを尊重し、コミュニケーション力、協働して働く力、自分の役割を責任を持って取り組む力を実践を通して高めていきました。この経験を、ポスターセッションで発表し、自分たちが学んだことやこの「大牟田」という地域で活躍する方々の思いをお互いに共有するとともに、保護者や地域の皆様にも学びの成果を発信することができました。

